
UPFテキストフィルター
(スルーモード)
USERS MANUAL

株式会社ユニテクス・ジャパン

UPF テキストフィルター (スルーモード)

UPF テキストフィルターのスルーモードを指定すると、テキストデータ内の任意のテキスト (行単位) に装飾をつけることができます。

書式	直接起動) -fm n1 lp 起動) rmode=n1
パラメータ	n1 = 0 : roff モードなし 1 : roff モード
初期値	roff モードなし

テキストデータ内に、.XXXXXXXXXXXXXXXXXX の形式でコントロールコードを記述します。
.H の後にプリンタ固有のコントロールコードを記述します。

. で始まるテキストデータの場合は、先頭に "\ " を付加して下さい。
\ で始まるテキストデータの場合は、先頭に "\ " を付加して下さい。
つまり、 "\ " で始まる行はテキスト行で "\ " は、削除されます。

コントロールコードについては、「ESC/P リファレンスマニュアル」を参照して下さい。

使用例 1

テキストデータ：

SuperLayout とオフィス・ドキュメント

イタリック指定

.H1B34

筆者が日頃取組んでいる大きなテーマに、ドキュメント・エンジニアリングとオフィス・ドキュメントとのインターフェイス、あるいはスムーズな連絡策を考えている。

イタリック解除
影付袋文字指定

.H1B35

.H1B7103

それぞれの分野ごとに蓄積・規準化された実践ノウハウ、設計思想、利用の環境が異なるため、単純に DTP といっても、制作現場や再活用方法などに大きな開きができるのもやむをえない。

文字スタイル解除
漢字書体（角ゴシック体）

.H1B7100

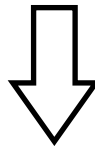
.H1C6B01

しかし、できるならばエンジニアや事務オペレータへの個別指導的なシステムよりも、ドキュメンテーションそのものの原点から派生させて、企業内あるいは工場内、事務所内で共通の品質改善に役立つ DTP がもとめられているだろう。

漢字書体（明朝体）

.H1C6B00

すでにエンジニアリング・ワークステーションは普及し、開発マシンとしてだけでは何か物足りないというデマンドも現場から醸成されつつある。



出力結果：

SuperLayout とオフィス・ドキュメント

筆者が日頃取組んでいる大きなテーマに、ドキュメント・エンジニアリングとオフィス・ドキュメントとのインターフェイス、あるいはスムーズな連絡策を考えている。

それぞれの分野ごとに蓄積・規準化された実践ノウハウ、設計思想、利用の環境が異なるため、単純に DTP といっても、制作現場や再活用方法などに大きな開きができるのもやむをえない。

しかし、できるならばエンジニアや事務オペレータへの個別指導的なシステムよりも、ドキュメンテーションそのものの原点から派生させて、企業内あるいは工場内、事務所内で共通の品質改善に役立つ DTP がもとめられているだろう。

すでにエンジニアリング・ワークステーションは普及し、開発マシンとしてだけでは何か物足りないというデマンドも現場から醸成されつつある。

使用例 2

テキストデータ：

リモートホスト側のプリンタ登録

リモートホスト側のプリンタ登録は、スルー（データを直接プリンタに出力）で印刷されるように設定します。

/etc/printcap の設定の詳細については、システムのマニュアルを参照してください。

文字色（赤）指定

.H1B7205

注意事項

リモートホストの OS が System V Release 3 である場合、ネットワーク出力できません。

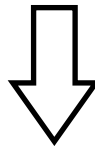
ネットワークプリンタに印刷する場合、lp コマンドのコピー枚数のオプション指定ができません。

文字色（黒）指定

.H1B7200

ネットワーク印刷の実行方法は、フィルター・プログラムを直接実行し、LP プリント・サービスにデータを渡します。

フィルター・プログラム [オプション] | lp -d プリンタ名 [オプション]



出力結果：

リモートホスト側のプリンタ登録

リモートホスト側のプリンタ登録は、スルー（データを直接プリンタに出力）で印刷されるように設定します。

/etc/printcap の設定の詳細については、システムのマニュアルを参照してください。

注意事項

リモートホストの OS が System V Release 3 である場合、ネットワーク出力できません。

ネットワークプリンタに印刷する場合、lp コマンドのコピー枚数のオプション指定ができません。

ネットワーク印刷の実行方法は、フィルター・プログラムを直接実行し、LP プリント・サービスにデータを渡します。

フィルター・プログラム [オプション] | lp -d プリンタ名 [オプション]